

歴史的事象について多面的・多角的に考察する力を高める指導の工夫 —政策の評価書を活用した意見交流を通して—

社会科班 杉藤 功（中学校教諭）



【はばたく群馬の指導プラン】

～身に付けさせたい力～
比較・関連付けて考え、社会的事象の特色や意味を理解する力

【生徒の実態】

歴史的事象の特色や意味について考える力が十分でない
・時代背景や他の出来事と関連付けて考えられない
・自分と関わりのあることとして、見たり考えたりする視点が持てない

学習活動 1

政策のねらいと成果を考える

＜明治維新＞
政策評価書を書く
「学制」
「徴兵制」
「地租改正」
「殖産興業」
「岩倉使節団」
の5政策

政策の評価書（徴兵制）

【生徒の記述の例】

明治政府の政策評価書
わたしは、

評価の観点

「徴兵令」が「国民」にあたえた影響に着目して考えました。

満20歳をこえた男子は士族・平民にかかわらず兵役を行うことになりました。しかし、多くの免除規定があり、実際に兵役についたのは、平民の二男、三男が多かった。

よって、徴兵令は

出したからといって、強兵になるとは思わないし、多くの免除規定があったため、もう少し規定を少なくすればよかった。例えばは身長のことや兄弟が兵役についた者などをなくせばよかった。と思います。

評価の根拠

自分の考え

学習活動 2

政策の成果と課題について、多面的・多角的に捉える

政策評価書を使って、少人数グループ（政策別）で意見交流をした後、グループごとに発表・政策分類をする

政策の課題と成果についてグループで考える



徴兵令
～成果～
・日本を守る軍隊を作ることができた。
・国民が安心し暮らせた。
～課題～
・農民の働かざる者への負担が重くなった。
・免除規定が多すぎて7人が集まらなかった。

多面的・多角的な視点で政策を分類する



明治政府の政策を分類してみよう

	士族 武士	平民 百姓・商人・職人	欧米諸国
政治的な政策	学制 徴兵令		
経済的な政策		地租改正	
外交的な政策			殖産興業 岩倉使節団

学習活動 3

政策を多面的・多角的な視点で関連付ける

学習課題「明治維新の政策で一番重要だと思う政策はどれか？」

- ・学制～一般的な読み・書き・計算ができなければ、地租改正の税の計算ができなかった。
- ・地租改正～地租改正によって財政が安定してきて、近代的な技術を取り入れることができた。
- ・殖産興業～万国博覧会に参加して、優れた技術を紹介したことで、欧米では日本に対する関心が高まった。

【成果】

- ①評価書を活用して意見交流をしたことで、自分の意見について明確な観点や具体的な根拠を示して話し合いに参加でき、様々な観点到に気付くことができた。
- ②政策の意義を他の政策や時代背景と比較・関連付けて考えるような学習課題を設定したり、政策を分類する活動を取り入れたことは、多面的・多角的に考察することに効果があった。

【課題】

手だてをより効果的にするために

- ①政策のねらいや成果、時代背景について、基礎的な知識や理解の定着を図っておく必要がある。
- ②思考力を高めるためコミュニケーションスキルを身に付けておく必要がある。